

# 地元工務店と ともににつくり上げる 秋田の気候風土に 合った住まい

鈴木さんご夫妻（右）と仲野谷工務所代表取締役の仲野谷勝洋さん（左）。旧知の間柄であったため、設計相談も和やかに進んだ。時には地元の寿司屋で打ち合わせをすることもあったとか



1. 家族の憩いの場となるLDK。キッチン子どもたちも手伝いができるようアイランド型に 2. リビングからフルフラットでつながるシックな雰囲気のある和室。家族のごろ寝スペースや客間にもなる、使い勝手抜群の空間 3. パネルヒーターは室内にアクセントを添えるインテリアとしても機能



決め手は地元での評判の高さ。途中で方向性がブレないように最初に家族の要望を1枚の紙にまとめて渡しました。

ご主人 それまで住んでいた家が、暗くて風通しも悪いし、冬場はとても寒くて…。子どもたちも大きくなってきたので、ちょうど良いタイミングかなと思い、新居を考え始めました。

奥さん ハウスメーカーの展示場はいくつか見て回りましたが、奥さんでもあいうところは、デザインやインテリアの参考にはなりますが、クロスの内側までは見えないじゃないですか。やっぱりそれだと不安なので、大工さんの仕事ぶりやわかる地元の工務店にお願いしたいと最初から考えていました。

ご主人 仲野谷さんとは子ども同士が同級生だったので、面識があったんですね。年代も近く、家族構成も似ていたんで、安心してお任せできるかなと思いました。

奥さん 仲野谷さんとは子ども同士が同級生だったので、面識があったんですね。年代も近く、家族構成も似ていたんで、安心してお任せできるかなと思いました。

ご主人 奥さん、お付き合いのあった内装屋さんにも「どこかい工務店はないか」と聞いてみたら、「仲野谷工務所さんは省エネ住宅に熱心に取り組んでいるし、仕事にも丁寧で信頼できるよ」とすすめられたんです。知り合いであるという安心感はもちろんありましたが、一番の決め手は地元での評判が良かったことですね。

仲野谷 そうでしたか、ありがとうございます。打ち合わせ期間はいただいたらカ月ぐらいでしたね。最初の打ち合わせの時、ご家族の要望を書き出した一枚の紙をご主人から手渡されました。

ご主人 ええ。間取りの希望や各所の使い方、ど

ご主人 ええ。間取りの希望や各所の使い方、どんな暮らしがしたいかなど、家族の希望をすべて盛り込んだものです。「家を建てる」と決めたら、一刻も早く新しい家に住みたくなってしまったので、少しでもスムーズに進むよう、初めに自分たちの考えを整理してお伝えしておこうと思って。

仲野谷 当社では通常、質問形式で二つひとつご家族の要望をお伺いするんですけど、その必要がないくらいしっかりとまとまったものでした。優先順位もはっきりしていたので、非常にプランニングしやすかったです。あのシートを作ったおかげで、私たちが途中で方針がブレることがなかったですね。仲野谷さんから上がったプランも、最初からほぼ希望どおりでした。

奥さん 最優先でお願いしたのは二つです。家事がしやすい動線と、家族でいる時間が長く取れるような間取りであること。思春期に入ると子どもはどついても部屋にこもりがちになると思うんですが、なるべくそうならないようにしたかったです。

ご主人 仲野谷 家事動線に関してはガレージに勝手口を直結させ、その先に家事室、キッチン、洗面脱衣所をひと続きに配置して、できる限り少ない動きで炊事や洗濯が完結するよう工夫しました。ご家族が集う共有スペースは、LDKをメインに、2階にもホールを利用したファミリースペースを配置。お子さんの部屋は就寝時に利用するためのイメージでコンパクトに収めました。

奥さん 家事は本当にストレスなくこなせるようになります。収納も豊富なので、片付けが苦手な私としては助かっています。

ご主人 子どもたちも部屋にこもっていることはいですね。リビングとファミリーホールに分かれて過ごしていても、吹き抜けを通して気配が感じられるので安心です。

冬の寒さが厳しい秋田では、高断熱・高気密であることに加え、省エネ性の高い快適な住まいを求めている人が増えています。理想的なわが家を実現するためには、豊富な知識と経験を持つ工務店選びが重要と言えるでしょう。では、どんなポイントで工務店を選び、どのように自分たちの希望を伝えたらよいのでしょうか。その一つの例として、地元・仙北市角館町の「仲野谷工務所」で家づくりを行った鈴木さんご夫妻に、新築の体験談を語っていただきました。

文/鎌田ゆうこ 写真/アド・フォート 魚住一夫

少ないエネルギーで  
快適な室温をキープ。  
高断熱・高気密住宅の  
良さを実感できます。

仲野谷

鈴木さんのお宅はオール電化住宅で、暖房方式はヒートポンプ式温水パネルヒーターを採用しています。お引き渡しはまだ寒さの残る3月でしたが、温熱環境についてはいかがでしたか？

奥さん

寒さを感じることはなかったですね。朝起きるのがつらくないし、家じゅうどこにいても室温が一定なので、とても快適でした。それは良かったです。ひと冬を越せば、より快適性を実感していただけたと思いますよ。

ご主人

夏場に閉めきって出かけていても、帰ってきた家に入った瞬間「涼しい」と感じるんです。エアコンをつけた期間もわずかでした。

仲野谷

鈴木さん宅はQ値1・0を実現した、秋田県の次世代省エネルギー基準をはるかに超



上. 南東の角地という絶好のロケーションに建つ鈴木さん宅。太陽光発電設備を取り付ける予定で、離れのガレージの屋根に傾斜を設けた。下. 高い天井が開放感を醸し出すリビング。これだけ大きな吹き抜けがありながらも、わずかなエネルギーで快適温度に保てるのは、高断熱・高気密住宅だから

える高断熱・高気密住宅です。高断熱・高気密住宅という冬場の暖かさが強調されますが、外皮をしっかりと断熱しているというところは、夏場も室内は外の暑さに影響されにくいということなんですよ。

ご主人

だからこそ、快適な温熱環境を実現するための冷暖房エネルギーがわずかで済み、省エネ性の高さにつながっているわけですね。

奥さん

そうですね、越してきてからの月々の電気代は、8月に1万円を少し超えたくらいで、あとの月は1万円以下でした。これにはびっくりです。

工務店選びこそが、  
家づくりを成功させる  
重要な鍵でした。

ご主人

初めて家づくりを体験したことで、工務店選びの重要性を実感しました。内装などは後からどうとでもできますが、性能や間

取りは後戻りできませんから。仲野谷さんにお願いで、本当に満足のいく家がありました。

仲野谷

そう言っていただけると嬉しいです。私たちが目指すのは、秋田の気候や風土に合った住宅づくり。お施主さんと対話をしながら、二戸三戸時間をかけて一緒に作り上げていくことをモットーとしています。鈴木さんとは理想的な進め方ができたと思います。

奥さん

建て終えてからもお付き合いは続いていますよ。何か困ったことがあれば、すぐに来てくれますし。

ご主人

私なんか棟梁の連絡先まで知っています。電話をすると気軽に来てくれるんですよ。つくり手の顔が見えるというのが、地元工務店の良さだなあと感じます。

仲野谷

これからも地元密着型の工務店ならではの小回りの良さ、きめ細かさを生かして、しっかり末永くアフターフォローをさせていただきます。

ご主人

ぜひよろしくお願いします！



下. 高い天井が開放感を醸し出すリビング。これだけ大きな吹き抜けがありながらも、わずかなエネルギーで快適温度に保てるのは、高断熱・高気密住宅だから



デッキ側からLDKを見る。窓下にパネルヒーターを配した



家事をしながらリビングやロフトの家族と会話ができるキッチン



LDKの全景。市松模様の縁なし畳を使用した和室と、隠れ家のようなロフトにつながる

域の次世代省エネルギー基準値1:9を大きく上回る1:0を実現しています。「温水パネルヒーターは1カ所ごとの温度調整、タイマー設定も可能なので融通性があり、ランニングコストも軽減できます。また、外張り断熱工法は、屋根裏から床下まで空間を余すことなく有効活用できるのがメリット」と、代表取締役の仲野谷勝洋さん。

土手の桧並木と目線の高さを合わせ、2階をリビングにした逆転プラン。吹き抜けのリビングと一体感を持たせたウッドデッキからは、自宅に居ながらお花見が楽しめます。ロフトは屋根の勾配に合わせて2層になっており、子どもたちの成長に応じてフレキシブルに活用可能。1階には主寝室と水まわり、玄関の床下は大容量の地下収納庫。6層のスキップフロアで巧みに構成された空間は、同社標準仕様様の4寸角の柱と梁がしっかりと支え、施工技術の高さを感じさせてくれます。

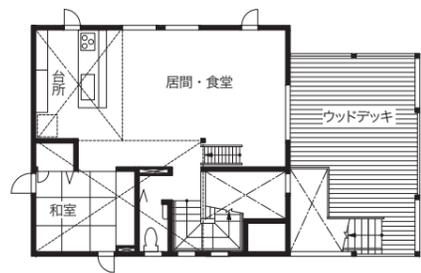
下請け大工を使わず自社大工による一貫した自社施工にこだわり、年間着工棟数を12棟前後に抑えることで品質管理を徹底。営業マンやモデルハウスを持たず、内覧会場でのアンケートも無記名方式。年2回、これまで手がけた全ての住宅を訪問し、きめ細かくアフターサービスを行っています。

「設計側と施工側が連携し共に進化し続けることで、お客様にさらに満足いただける家づくりを提案していくこと。それが地場に密着した工務店のあるべき姿だと思っています。」

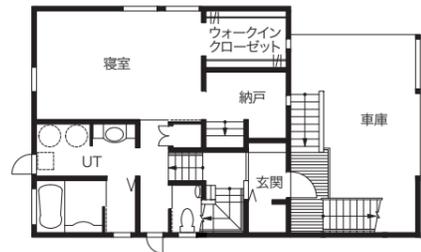
松本市内川沿いの美しい桧並木を借景に建つお住まいは、片流れ屋根が印象的な箱形デザイン。仙北市で唯一の東北電力推奨電化住宅施工店「eハウスビルダー」に認定されている仲野谷工務所が、省エネ・快適性・耐久性・健康を追求した「次世代型提案住宅」です。

壁には高性能硬質ウレタンフォームボードのアクレスキューワンボード50ミリ+高性能グラスウール1000ミリ、開口部はノルウエーの木製サッシ（トリプルガラス）を使用。Q値は、仙北地

REPORT02 / 仙北市・Nさん宅  
省エネ・快適性・耐久性・健康をとことん追求  
住宅性能とデザインが融合した  
次世代型提案住宅



2F



1F

■秋田県仙北市・Nさん宅（夫婦40代、子ども3人）  
 ■設計・施工 / (有) 仲野谷工務所  
 ■建築データ  
 構造規模 / 木造（在来工法）・2階建て  
 延床面積 / 162.15㎡（約49坪）  
 <主な外部仕上げ>  
 屋根 / ガルバリウム鋼板、外壁 / アイジー工業 サイディング  
 (ガルパン)、建具 / 玄関ドア:トステム 断熱ドア、窓:  
 SP木製断熱型サッシ  
 <主な内部仕上げ>  
 床 / ナラ・スギ無垢フローリング、壁 / 珪藻土クロス、天井 / スギ無垢羽目板張（節有）  
 <断熱仕様 外張断熱+付加断熱> 基礎 / スタイロエース  
 30mm（土間部分）・65mm（立上り部分）、壁 / アキレス  
 キューワンボード50mm+高性能グラスウール16kg100mm、  
 屋根 / アキレスボード50mm+50mm  
 <暖房方式> ピーエス パネルヒーター

■工事期間  
 平成19年2月～4月（約3ヵ月）



1. ロフトの段差を書庫スペースに活用。天井はスギ板仕上げ 2. 引き戸式の収納が便利なキッチン。カウンター下にはディスプレイ棚 3. 玄関は中2階にあり、左の階段は2階LDKへ、右の階段は1階へ続く 4. 片流れ屋根のシャープでモダンな外観



開放的な大空間が広がるLDK。快適な温度が保てるのは高性能住宅の証

●お問い合わせ  
**有限会社 仲野谷工務所**  
<http://www.nakakou.net/>

秋田県仙北市角館町北野31-1  
 TEL:0187-54-3198  
 E-mail: BCL00755@nifty.com

●<家づくりWEBセンター>登録企業

**省エネ住宅への関心が高まる中、常に一歩先をリード**

長期優良住宅の認定を受けるには、耐震性、断熱性、耐久性など厳しい基準を満たす必要があります。しかし、制度開始以前から当社が標準で行ってきた、120ミリのスギ集成柱を全箇所で使用している施工方法や、次世代省エネ基準をクリアする家づくりは、そのまま長期優良住宅の基準に対応できるものです。震災を機に省エネに対するお客様の関心も高まる中、常に前を見据えて、時代のニーズに対応できるよう取り組んでいきたいと思っています。